



平成 20 年 11 月 13 日

各 位

会 社 名 株式会社高松コンストラクショングループ
 代 表 者 名 代表取締役社長 朴 木 義 雄
 (コード番号 1762 東証・大証第一部)
 問 合 せ 先 常 務 取 締 役 北 村 明
 (TEL 06-6303-8101)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 20 年 5 月 19 日に発表しました業績予想を下記のとおり修正いたします。

なお、平成 20 年 9 月 10 日付「子会社の異動（株式取得）に関するお知らせ」および平成 20 年 9 月 26 日付「孫会社の異動（株式取得）に関するお知らせ」のとおり、当社グループは、みらい建設工業株式会社、みらいジオテック株式会社、テクノマックス株式会社ならびに株式会社エムズの株式を取得いたしました。各社の業績は平成 21 年 3 月期第 3 四半期から連結業績に反映されることとなります。

記

連結業績予想数値の修正

1. 平成 21 年 3 月期第 2 四半期累計期間（平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	65,600	△700	△700	△700
今 回 修 正 予 想 (B)	66,471	△658	△466	△484
増 減 額 (B-A)	871	41	233	215
増 減 率	1.3%	—	—	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績	65,542	343	492	221

2. 平成 21 年 3 月期（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	172,000	5,000	4,800	2,600
今 回 修 正 予 想 (B)	194,000	5,100	5,500	2,700
増 減 額 (B-A)	22,000	100	700	100
増 減 率	12.8%	2.0%	14.6%	3.8%
(ご参考) 前期実績（平成 20 年 3 月期）	170,253	4,079	4,481	2,397

3. 修正の理由

第 2 四半期連結累計期間につきましては、売上高は概ね前回予想のとおりとなりました。利益は当社個別の売上総利益が前回発表予想に比べ改善されたこと等により、営業利益、経常利益および四半期純利益がそれぞれ増加することとなりました。

平成 21 年 3 月期につきましては、ほぼ当初計画どおり推移する見通しであることに加え、みらい建設工業株式会社他 3 社の業績が平成 21 年 3 月期第 3 四半期から連結業績に反映されること、および当該子会社の株式取得により生じた「負ののれん」の償却額（営業外収益）の計上等によるものです。

(参考) 個別業績予想数値の修正

1. 平成21年3月期第2四半期累計期間(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
前回発表予想 (A)	10,000	△300	500	500
今回修正予想 (B)	9,797	△86	727	687
増減額 (B-A)	△202	213	227	187
増減率	△2.0%	—	45.5%	37.6%
(ご参考) 前期第2四半期実績	10,910	168	960	820

2. 平成21年3月期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

本修正は、あくまで、会社分割による純粋持株会社への移行に伴うものであり、平成20年10月1日に事業を承継した高松建設株式会社の業績は当初計画どおりに順調に推移しております。

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (注1) (A)	32,500	2,400	3,200	2,200
今回修正予想 (注2) (B)	10,000	△260	550	550
増減額 (B-A)	△22,500	△2,660	△2,650	△1,650
増減率	△69.2%	—	△82.8%	△75.0%
(ご参考) 前期実績(平成20年3月期)	32,218	2,526	3,321	1,907

(注1) 前回発表予想は、純粋持株会社制への移行を加味しない高松建設株式会社の通期業績予想です。

(注2) 今回修正予想は、上半期までの高松建設株式会社の業績に、純粋持株会社制へ移行した下半期以降の株式会社高松コンストラクショングループの業績予想を加算したものです。

なお、上半期までの高松建設株式会社の業績に、下半期の事業会社としての高松建設株式会社(非上場)の個別業績見通しを加算すると以下のとおりとなる見通しです。

(単位:百万円)

売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
32,000	2,100	2,800	2,000

3. 修正の理由

第2四半期累計期間につきましては、売上高は概ね前回予想のとおりのとなりました。利益は売上総利益が前回発表予想に比べ改善されたこと等により、営業利益、経常利益および四半期純利益がそれぞれ増加することとなりました。

平成21年3月期につきましては、純粋持株会社制へ移行したことから業績を修正するものです。

なお、持株会社制への移行が連結業績に与える影響はありません。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報にもとづき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上